

令和6年度第12回合同教育研究会議事概要

1 開催日時

令和7年3月26日 13時00分～13時50分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
三上学生支援本部長、猪股企画本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、
堀川ソフトウェア情報学科長（高田ソフトウェア情報学部長代理）、
Tee総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、
田中宮古短期大学部長、大志田経営情報学科長、
永富委員（学外委員：東北大学産学連携機構特任教授）

[オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、加藤教育支援室長、松崎学生支援室長、
藤村研究・地域連携室長、佐藤企画室長

[事務局]

高橋総務財務課長、森主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議3月13日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

- (1) 岩手県立大学宮古短期大学部学則の一部を改正する学則案について
高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。
- (2) 岩手県立大学宮古短期大学部履修規程の一部を改正する規程案について
高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

- (1) 盛岡市まちづくり研究所の廃止について
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
委員から研究所の廃止の理由について質問があり、亀田研究・地域連携本部長か

ら、盛岡市において職員の派遣が難しくなっているためと聞いているとの回答があった。

(2) 令和7年度科学研究費助成事業研究種目別採択状況について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(3) 令和8年度科研費申請に向けた取組について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から申請書レビューの対象とする課題の選定方法について質問があり、亀田研究・地域連携本部長から、判定結果や点数の高いものを優先することを基本とするが、学部等において特に優先してほしい課題がある場合は、それを優先するとの回答があった。

委員から、選定結果等について学部に共有してほしいとの発言があった。

委員から、意欲的な教員や、伸びしろのある教員の課題を積極的に選定してほしいとの発言があった。

(4) いわて高等教育地域連携プラットフォームに係る取組及び今後の対応について

高橋副学長から、資料に基づき説明があった。当該プラットフォームのほかに、県内には類似した連携組織が複数あるが、その整理も関係者間で進めているとの補足説明があった。

委員から、次年度の意見交換のテーマとしているゼロ・カーボンは、どこのWGが所掌しているのかと質問があり、高橋副学長から、現在、ゼロ・カーボンを所掌しているWGはないが、意見交換を機に、既存のWGの枠組みに入ったり、新たなWGが設置されたりする可能性はあるとの回答があった。

(5) 教員業績評価と研究者情報システムのデータ連携について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、研究者情報システムへの入力と教員業績評価シートへの入力で、手間が増えるのではないかと質問があり、亀田研究・地域連携本部長から、業務負担を減らすために見直すものであるとの回答があった。

委員から、研究者情報システムの登録内容を教員業績評価シートに反映するのではなく、教員業績評価シートに入力した内容を研究者情報システムに取り込む方法も検討してほしいとの発言があった。

(6) 新型コロナウイルス対策行動計画の廃止等について

米内事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

委員から、学生への周知については、電子掲示板に掲示するだけでなく、4月に開催される学生向けのガイダンス等で説明してほしいこと、学部に対して資料の提供があれば、各学部が主催するガイダンス等で取り上げることが可能であるとの発言があり、米内事務局次長兼総務室長から、ガイダンス用に資料を編集し、提供するようにしたいとの回答があった。

(7) 公立大学法人岩手県立大学シニア・フェロー設置要綱の制定 について

米内事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

委員から、学長が指定する教育研究活動等について、具体的に決まっているもの

はあるかとの質問があり、学長から、現時点では具体的には決まっていないとの回答があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和7年度入学式（滝沢キャンパス）の実施概要について
- (2) 令和6年度後期「English Time」開催結果について
- (3) 令和6年度後期「数学学習相談室」の実施報告について
- (4) 令和6年度合同企業等説明会の開催結果について
- (5) 子ども起業体験ワークショップ in 岩手県立大学の開催結果について（報告）

(2)(3)について

委員から、English Time 及び数学学習相談室の次年度の継続の有無について質問があり、加藤教育支援室長から、開催方法等は検討中であるが、次年度も継続するとの回答があった。高橋教育支援本部長から、各学部において、学生に対し利用を奨励してほしいとの発言があった。

(4)について

委員から、合同企業説明会の出席者数が減っていることへの対応策について質問があり、松崎学生支援室長から、就職活動の早期化の対応として11月に県大ミーツカンパニーを開催したことから、これを継続すること、その他、卒業年次生アンケートの結果等を参考に対応策の検討を進めたいとの発言があった。

その他

なし